

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17062	創業等支援事業	課名	産業振興課 商工業・地域交通G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化		07:商工費
	施策の方向	04:新たなビジネスの創出		01:商工費
戦略プロジェクト	-	02:商工業振興費		
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	三重県市町連携型中小企業金融支援補助金交付要領	

目的・概要	対象	市内での創業予定者や創業後間もない事業者
	目的	当地域の創業支援機関と連携しながら、創業しやすい環境を整備し、市内での創業を目指す若者や女性等を積極的に支援することにより、創業希望者を増やし、地域産業の活性化を図るとともに、雇用対策を推進する。
概要		市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業支援セミナーや個別相談会を開催する。また、創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における資金繰りを支援するとともに、創業後においても亀山商工会議所をはじめとした地域の創業支援機関と連携し、継続的な支援を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	○創業支援セミナーの開催		○創業支援セミナーの開催	○創業支援セミナーの開催	
	○創業融資にかかる保証料補給		○創業融資にかかる保証料補給	○創業融資にかかる保証料補給	
	○創業融資にかかる利子補給		○創業融資にかかる利子補給	○創業融資にかかる利子補給	
	○空き店舗等活用支援補助金の交付		○空き店舗等活用支援補助金の交付	○空き店舗等活用支援補助金の交付	
年度実績	創業支援事業(創業塾)の開催(全4回) 受講者数10人 小規模事業者等経営支援事業(専門相談) 延べ6社12回 創業融資にかかる保証料補給 7件 保証料補給額 計512,800円 創業融資にかかる利子補給 10件 利子補給額 計232,600円 空き店舗等活用支援補助金 2件 2,500,000円		創業支援事業(創業塾)の開催(全4回) 受講者数13人 小規模事業者等経営支援事業(専門相談) 延べ6社12回 創業融資にかかる保証料補給 5件 保証料補給額計533,900円 創業融資にかかる利子補給 4件 利子補給額計151,200円 空き店舗等活用支援補助金 1件 1,000,000円		
	事業の計画・実績	事業費	5,600千円	5,600千円	5,600千円
		国庫支出金			
県支出金		400千円	400千円	400千円	
地方債					
一般財源		5,200千円	5,200千円	5,200千円	
事業費	事業費	5,100千円	3,600千円		
	国庫支出金				
	県支出金	396千円	210千円		
	地方債				
	一般財源	4,704千円	3,390千円	0千円	
決算額	事業費	4,317千円	2,740千円		
	国庫支出金				
	県支出金	78千円	116千円		
	地方債				
	一般財源	4,239千円	2,624千円	0千円	
人件費	総人件費	3,925千円	3,920千円	0千円	
	一般職員	3,925千円	3,920千円	0千円	
	所要人員	0.50	0.50		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		8,242千円	6,660千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	創業セミナー受講者数	活動	計画値	20	20	20
			実績値	10	13		
			単位	人	人	人	
	名称	創業者数	成果	計画値	4	4	4
			実績値	1	2		
			単位	事業者	事業者	事業者	
	名称	創業セミナー受講者のうち市内で創業した事業者数	活動	計画値	2	2	2
			実績値	10	5		
			単位	事業者	事業者	事業者	

事業の改善	前回評価	<p>[前回評価の対応方針の概要を記入]</p> <p>若者・女性の創業等への積極的支援として、創業者が若者・女性である場合に限り、補助金上限額をこれまでの1.5倍となる上限額150万円に拡充した亀山市空き店舗等活用支援事業補助制度をPRする。 また、創業セミナーの内容や時期の工夫を行うとともに、創業融資にかかる資金繰り支援を継続実施する。</p>
	改善行動	<p>[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]</p> <p>亀山市空き店舗等活用支援事業補助制度について、新型コロナウイルス感染症の影響により創業に慎重になる傾向にあったため、第2次募集を行うなど積極的なPRを行った。また、創業セミナーについても、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定の8月に開催はできなかったが、感染状況が落ち着いた10月の土曜日開催し、若者や女性が参加しやすい環境を整えた。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>[計画どおりに実施できたか]</p> <p>創業セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により予定時期には開催できなかったが、時期を変更して全4回開催し、13人の受講者があった。また、商工会議所に小規模事業者等経営支援事業を委託し、延べ6社12回の経営に関する専門相談を行った。その他、空き店舗等活用支援補助制度の周知をケーブルテレビや広報で行った。また、創業者への資金繰り支援として、融資にかかる保証料及び利子への補給を行った。</p>	A 計画どおり実施できた
	成果	<p>[成果は順調に上がったか]</p> <p>創業セミナーについては、若者や女性が参加しやすいように開催時期を8月(夏休み期間)に設定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により10月開催となった。そのうち、令和2年度における創業件数は2件で、創業セミナー開催時からの受講者による市内での創業は、累計で18件となった。また、空き店舗等活用支援補助金については、1件の申請があり、平成30年度に制度を新設してから3年間で6件となった。さらに、創業資金利子補給制度の申請が4件、保証料補給制度の申請が5件あり、創業者の負担軽減と経営の安定を図ることができた。</p>	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>[課題は何か]</p> <p>創業支援により創業者は継続的に増えているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、先行き不透明な経済状況から、創業を見合わせるケースもある。今後は、創業セミナーや資金繰りなどの支援に加え、さらに創業に向けて一歩が踏み出せるよう、創業体験ができる取組も併せて進めていく必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>[その他の場合、その内容を記載]</p>
	対応	<p>[課題に対し、どのように対応するか]</p> <p>引き続き商工会議所と連携し、積極的に創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上に繋げる。また、昨年度に引き続き、創業セミナーの開催や補助制度の活用により、若者・女性の創業支援を積極的に行っていくとともに、創業にチャレンジできる環境づくりも併せて検討していく。</p>	
	効果	<p>[対応することで、どのような効果が期待できるか]</p> <p>商工会議所と連携することで、創業者のニーズに応じた専門的かつ総合的な相談対応ができる。また、創業セミナーや空き店舗等活用支援事業補助制度、創業資金利子補給制度など、様々なメニューにより市内創業予定者を支援し、創業につなげることで、商業の活性化及びにぎわいの創出が期待できる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 井上 和哉
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	
	成果	A	B	B	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,600 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	3,600 千円
	令和3年度への繰越額	千円